

## 2-2 太陽光発電システム

### (1) 導入目標

太陽光発電の導入目標は、表14の通りです。この目標を達成するためにとりうる推進策について、2010年までとそれ以降に分けて考えます。

表14 太陽光発電システムの導入目標

	2010	2020	2030
戸建	1,497kW (499戸)	4,332kW (1,444戸)	7,881kW (2,627戸)
集合	630kW (42棟)	3,225kW (215棟)	9,600kW (640棟)
事業所	810kW (54棟)	2,700kW (180棟)	8,100kW (540棟)
計	2,937kW	10,257kW	25,581kW

### (2) 2010年までの導入施策

太陽光発電システムの普及は着実に進んできましたが、設置コストが低下してきたとはいえ、60～70万円/kW（3kWシステムで180～210万円）という価格はまだおいそれと手が出せるものではありません。2006年度にはこれまで普及を支えてきた国の補助制度（住宅用太陽光発電導入促進事業）も廃止される予定です。こうしたことから、現状のままでは、本調査で掲げた目標を達成することは困難であり、さまざまな施策を組み合わせる必要があると考えられます。今後短期的に取り組むことができる対策としては、以下のようなものが考えられます。

一方、将来的に必要な技術やシステムについても、検討を始めなければなりません。

なお、公共施設（とくに学校）や公営の集合住宅に関しては、建て替えや改修の時期を把握し、計画的に導入を進めていくことを検討する必要があります。

#### ①太陽光発電システムのまとめ買い契約による低価格化

行政が音頭をとって設置希望者を募集し、年間導入計画に基づくまとめ買いによる入札を実施することで、単価の低下を促すことができると考えられます。行政が仲介することで、業者も参加しやすくなると考えられます。東京都や他の自治体との連携も視野に入れながら、導入を検討していきます。

耐用年数を20年、金利を4%とした場合、工事費込みの費用が400,000円/kW（3kWで120万円）程度であれば、発電単価は23.5円/kWhとなり、現行の電灯契約料金の単価にかなり近くなります。

表15 太陽光発電システムの設置価格と発電単価（発電量1,250kWh/kW・年、耐用年数20年、金利4%）

設置単価（円/kW）	70万円	60万円	50万円	40万円	30万円
発電単価（円/kWh）	41.1円	35.2円	29.4円	23.5円	17.6円